

令和 5 年度事業報告書

令和 5 年（2023 年）10 月～令和 6 年（2024 年）9 月

NPO 法人あっとオーティズム

1. 活動の成果

NPO 法人あっとオーティズムは、自閉スペクトラム症（ASD）・発達障がいのある子どもたちとその家族が直面する困難への支援、および ASD・発達障がい等の社会理解促進のための啓発活動を行いました。

ASD・発達障がい等のある子どもたちとその家族に対する相談事業、子どもたちの特性理解を学ぶ場の提供、立ち後れている社会理解を促進するため、

療育事業として、発達障がい（ASD）、その他の知的障がいのある子どもの療育、またそのご家庭への家庭でできる療育的指導の支援、相談を行いました。

啓発活動として、世界自閉症啓発デーおよび発達障害啓発週間にライト・イット・アップ・ブルー（以下 LIUB）キャンペーンを行いました。また理事長による ASD および発達障がいの特性理解を促進する講演活動を各地で行いました。

発達相談・情報提供事業として、ASD 等のある子どもの保護者を対象に個別の無料相談を受けました。障がい福祉に係る情報提供の環境整備を芦屋市内の関連団体とともに行いました。

交流事業として、障がいのある子どもたちが無理なく映画を楽しむ機会を提供して下さる OS シネマ様、またスペシャルニーズのある子どもがお仕事体験ができるようキッズニア甲子園様から依頼を受け招待の案内をしました。

児童福祉法に基づく障害児通所支援事業として、ASD や発達障がいまた他の知的障がい等のある子どもが保育所や学校等で快適な集団生活を送るために、集団での子どもの行動などを分析し子どもが快適に過ごせるよう支援を行いました。

(1)療育事業について

ASD などの発達障がいやその他の知的障がいのある子どもの療育、またそのご家庭への家庭でできる療育的指導の支援、相談を行いました。特に保護者の相談には力を入れ、療育専門の指導者が対象となる児童の学校の支援員の方への支援として、場面場面での対応の方法、教材提供の協力もしました。今後は、療育支援事業として、職員研修、学校訪問など、保護者や学校での支援をする先生へのニーズに合わせたサービスを広げたいと思っています。

(2)啓発活動について

「ライト・イット・アップ・ブルー Japan2024」日本各地への普及

ライト・イット・アップ・ブルー（LIUB）は、世界中がつながりオーティズム（自閉スペクトラム症/ASD/発達障がい）の啓発を行うキャンペーンです。当法人は今年度も LIUB 日本大使として理解促進のため LIUB Japan 実行委員会を立ち上げ、関連機関、団体、一般企業、一般市民の皆様を含む全ての人々への呼びかけを目標に LIUB キャンペーンを開催いたしました。具体的には①全国から LIUB パートナーを募った。②フライヤーを

作成し全国規模で配布した。③ポスター・フライヤーを兵庫県→市町村へ、また全国の協力施設へ配布した。③HP や SNS 等で提供された全国の活動をつなげた。④全国各地の首長（市長、知事など）の応援のセルフ写真を募集し、HP などに掲載した。

LIUB キャンペーンは 172 カ国以上がつながり開催されました。ライトアップの数は北海道から沖縄まで 433 ヶ所以上（前年 403 ヶ所）で毎年増加しており自閉スペクトラム症（ASD）・発達障がいの啓発を継続でき理解促進の一助になったのではないかと思います。

「ライト・イット・アップ・ブルー Japan 2024」写真ダイジェスト（別紙）

「地元芦屋、神戸での LIUB イベント」開催

[芦屋イベント]昼の部

LIUB 芦屋イベントはパレットさんとの共催で開催しました。リード芦屋を全館貸切り 1 階はフード販売やバッジ製作など、2 階はステージを設置し TAKERU のミニライブを行いました。また来賓の高島芦屋市長、野村芦屋市教育長、堺三田谷治療教育院理事長をお招きし子どもたちと一緒にオリジナル傘作りをしました。市長インタビューでは特別支援教育のお話や質疑応答が行われました。またあしや部高校生が射的ゲームで 13 名ボランティア参加をしてくださいました。心話会のアール・ブリュットアーティストの作品を展示しプレゼンをしていただきました。

[芦屋イベント]点灯式

芦屋市役所での LIUB 芦屋点灯式は高島芦屋市長、竹田契一先生（大阪教育大学名誉教授）をお招きして開催されました。市長のカウントダウンで市庁舎の市章の初ライトアップがなされました。点灯式は参加型のイベントとして参加者が芦屋市役所北玄関前を飾り付け、全員で高島市長とライトアップの写真撮影をしました。サプライズゲストとしてシンガーソングライターの方がお越しくださいました。

神戸三宮センター街における LIUB チラシ・啓発リーフレット・風船・啓発バッジ 200 組の配布は人手不足により見送られました。

阪急百貨店うめだ本店 9 階祝祭広場にて毎年出演しているチャリティートークイベントは今年度 3 月 23 日に行われ、ASD および発達障がいの特性について動画とトークによる周知活動をしました。

日本での LIUB は今年で 14 回目を迎えました。LIUB キャンペーンの実施継続により、多くの自治体、企業、マスコミ、一般市民が自閉スペクトラム症への関心を高めており、今後もより一層の理解へと繋げていきたいと思っております。

(3)相談事業について

無料の相談室では、子供の発達に不安を持つ保護者らの相談を受け、個々の状況に応じたアドバイスを行い、適切な療育を受けることのできる場所を紹介するなど情報提供を行いました。また、当法人のメンバーらが母親としての目線から、小さなお子様を育てている相談者へ経験談や情報の提供を行いました。障がい福祉に係る情報提供の環境整備に芦屋市内の関連団体とともに取り組みました。

(4)交流事業について

OS 株式会社（共催：阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト）様から「誰もが映画を楽しみ、感動を分かち合える社会の実現を目指した映画上映会」、障がいのある人が安心して映画鑑賞できる機会をいただき、また阪急阪神ホールディングス株式会社様から ASD および発達障がいのある子どもたちにこども向けの職業体験キッズ甲子園の入場チケットを提供いただき、当事者ご家族へご案内しました。

(5)児童福祉法に基づく障害児通所支援事業について

保育所等訪問支援事業所あっとプロが 6 月 1 日から開所しました。保育所等訪問支援事業は障がいのある子どもが保育所や学校などで集団生活を送るための支援をおこなうサービスです。保護者からの依頼を受けて行います。現在 16 名のお子様が契約されています。

2. 特定非営利活動にかかる事業

(1)療育事業

日時：令和 5 年 10 月～令和 6 年 9 月

発達障がい（ASD）、その他の知的障がいのある子どもの療育、またそのご家庭への家庭でできる療育的指導の支援、相談を行いました。

参加料：無料

(2)自閉スペクトラム症(ASD)についての啓発事業

「ライト・イット・アップ・ブルー Japan 2024」主催

日時：令和 6 年 4 月 2 日 日没後

場所：全国各地 参加者：不特定多数 入場料：無料

参加施設：ライトアップ施設 403 ヶ所以上

後援：内閣府、外務省、厚生労働省、文部科学省、国土交通省、兵庫県、神戸市、芦屋市、兵庫県社会福祉協議会、一般社団法人日本自閉症協会、一般社団法人日本発達障害ネットワーク(JDD)、特定非営利活動法人アスペ・エルデの会

実行委員会運営費用：協賛（株式会社布引コアコーポレーション、早駒運輸株式会社神戸シーバス、社会福祉法人光朔会オリンピック、株式会社 日穀、小倉サンダイン株式会社、佐伯商事 他）
寄付（阪急阪神ホールディングス、個人寄付金、事業収入等）

「ライト・イット・アップ・ブルー Japan 2024」関連イベント

「H2O サンタイベント（チャリティートーク）」

日時：2024 年 3 月 23 日

場所：阪急百貨店うめだ本店 9 階祝祭広場

「LIUB2024 芦屋イベント」

昼の部日時：2024 年 4 月 2 日 11 時～15 時

場所：リード芦屋

オープニングセレモニー

司会：上木敦子

来賓：高島芦屋市長、野村芦屋市教育長、三田谷治療教育院 堺理事長

インタビュー：高島芦屋市長

ライブ：TAKERU ミニライブ

共催：パレット

点灯式日時：2024年4月2日 17時30分～19時30分

場所：芦屋市役所北玄関前 市章と北玄関をライトアップ

来賓：高島芦屋市長 竹田契一大阪教育大学名誉教授

「三宮センター街 LIUB チラシ配布」中止

(3) 発達に関わる相談及び情報提供事業

母の相談室

日時：令和5年10月～令和6年9月 随時 場所：リード芦屋・オンライン

参加者：延べ5名 相談員：佐伯比呂美 参加料：無料

いつでも気軽に悩みを相談したり、先輩の育児経験者らのアドバイスを聞くことのできる相談室として、茶話会や進路交流会を開催していきたいと考えております。

(4) 余暇活動及び文化、芸術活動を推し進める交流事業

映画上映会

■実施日時：2024年6月15日（土） 9：00開場 9：30開始

■実施場所：OSシネマズ神戸ハーバーランド

（劇場HP：<https://www.oscinemas.net/cgi-bin/pc/index.cgi>）

子ども向け職業・社会体験施設

■実施日時：2024年11月中旬～2025年3月31日

■実施場所：キッズニア甲子園（施設HP：<https://www.kidzania.jp/koshien/top>）

3. 事業実施体制

- (1) 会合に関する事項
- 定例会、打ち合わせ会：年間約138回
 - 市長への要望書提出および事前打ち合わせ 2回
 - 第13期通常総会：令和5年11月22日 11名出席
 - 臨時総会（1）：令和6年2月21日 9名出席
 - 臨時総会（2）：令和6年5月28日 10名出席
 - 芦屋市専門部会 22回 まるっと芦屋実行委員会 20回

(2)事務局体制 ①事務局長：佐伯比呂美 ②事務局スタッフ：3名

(3)会員 ①個人正会員 12名

(4)ボランティア

管理部門 活動時間年間数約 115 時間

啓発事業 活動時間年間数約 241 時間

(5)連携グループ 一般社団法人日本発達障害ネットワーク（JDD）エリア 会員
 KOBE 三宮・ひと街創り協議会 ザ・ファースト 会員

(6)受入評価益

受け入れた役務、サービスについては、活動計算書に計上し、その詳細を別紙にて記載しました。多くの皆様にご支援いただき、本年度の事業が行われました。

（資料 A）ボランティアによる役務の提供

（資料 B）施設の提供等物的サービスの受入

令和5年度 受入評価益一覧

NPO 法人あっとオーティズム

(資料 A) ボランティアによる役務の提供

日付	事業名	氏名	時間	金額	算出根拠
R5.10 ~ R6.9	<u>管理部門</u>	事務ボランティア（会計・庶務） （伴野）事業場：50 時間、在宅：19 時間 （村井）事業場：36 時間、在宅：10 時間	のべ 115 時間	1,001 円×115h 計 115,115 円	兵庫労働局による最低賃金
R6.4.2	<u>啓発事業</u>	LIUB Japan 2024 当日ボランティア 13 名×5 時間 22 名×8 時間	のべ 241 時間	1,001 円 x241h 計 241,241 円	兵庫労働局による最低賃金
	合計			356,356 円	

(資料 B) 施設の提供等の物的サービスの受入れ

R6.4.2	<u>啓発事業</u> LIUB Japan 2024	あっとオーティズムより依頼 34 施設（明石海峡大橋、兵庫大仏（能福寺）、明石市立天文科学館、錨山、しあわせの村 他） 各施設ライトアップ費用		100,000 円×34 施設 3,400,000 円	一般社団法人神戸港振興協会に問い合わせた電飾プログラム作成にかかる費用による。
R6.4.2	<u>啓発事業</u> LIUB Japan 2024	(株)フロンティアプラス 芦屋市東芦屋町 1-16-402 入稿作業、web バナーデザイン等		107,800 円	(株)フロンティアプラスに問い合わせた通常にかかる費用による。
	合計			3,507,800 円	

活動計算書

令和5年10月1日から 令和6年9月30日まで

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	55,000	
賛助会員受取会費	0	55,000
2. 受取寄付金		
寄付金	2,152,640	
協賛金	373,200	
ボランティア受入評価益	356,356	
施設等受入評価益	3,507,800	6,389,996
3. 事業収益		
啓発グッズ販売収益	67,800	
障害児通所支援事業収益	583,709	651,509
4. その他収益		
受取利息	107	
雑収入	4,224	4,331
経常収益計		7,100,836
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
ボランティア評価費用	241,241	
人件費計	241,241	
(2) その他経費		
旅費交通費	65,290	
通信運搬費	209,561	
啓発グッズ費	334,013	
会議費	155,931	
活動交際費	0	
業務委託費	527,472	
諸謝金	110,000	
印刷製本費	113,590	
事務消耗品費	60,490	
広告宣伝費	203,346	
支払手数料	5,280	
システム利用料	39,987	
雑費	76,080	
教材費	14,500	
保険料	23,470	
租税公課	8	
施設等評価費用	3,507,800	
その他経費計	5,446,818	
事業費計		5,688,059
2. 管理費		
(1) 人件費		
ボランティア評価費用	115,115	
人件費計	115,115	
(2) その他経費		
会議費	0	
活動交際費	3,000	
家賃	1,584,000	
会費	30,000	
支払手数料	1,155	
租税公課	3,605	
その他経費計	1,621,760	
管理費計		1,736,875
経常費用計		7,424,934
当期経常増減額		△ 324,098
III 経常外収益		
1. 過年度損益修正益		0
経常外収益計		0
III 経常外費用		
1. 過年度損益修正損		0
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		△ 324,098
法人税、住民税及び事業税		0
当期正味財産増減額		△ 324,098
前期繰越正味財産額		2,345,375
次期繰越正味財産額		2,021,277

法人名： NPO法人あっとオーティズム

貸借対照表

令和6年 9月 30日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,927,835		
未収入金	12,429		
流動資産合計		1,940,264	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産	0		
(2) 無形固定資産	0		
(3) 投資その他の資産	121,000		
固定資産合計		121,000	
資産合計			2,061,264
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	39,987		
流動負債合計		39,987	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			39,987
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		2,345,375	
当期正味財産増減額		△ 324,098	
正味財産合計			2,021,277

計算書類の注記

[NPO法人あっとオーティズム]

1 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2011年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

- (1) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理
施設の提供等の物的サービスを受入れは、活動計算書に計上しています。また計上額の算定方法は、「3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳」として注記しています。詳細は事業報告書に記載しています。
- (2) ボランティアによる役務の提供
ボランティアによる役務の提供は、活動計算書に計上しています。また計上額の算定方法は、「4. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳」として注記しています。詳細は事業報告書に記載しています。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

科 目	療育事業	啓発事業	相談事業	交流事業	障害児通所支援事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益								
1. 受取会費	0	0	0	0	0	0	55,000	55,000
2. 受取寄付金	0	3,989,346	0	0	0	3,989,346	2,027,450	6,016,796
3. 協賛金	0	373,200	0	0	0	373,200	0	373,200
4. 事業収入	0	67,800	0	0	583,709	651,509	0	651,509
5. その他収益	0	4,285	0	0	0	4,285	46	4,331
経常収益計	0	4,434,631	0	0	583,709	5,018,340	2,082,496	7,100,836
II 経常費用								
(1) 人件費								
ボランティア評価費用	0	241,241	0	0	0	241,241	115,115	356,356
人件費計	0	241,241	0	0	0	241,241	115,115	356,356
(2) その他経費								
旅費交通費	0	60,050	0	0	5,240	65,290	0	65,290
通信運搬費	0	209,561	0	0	0	209,561	0	209,561
啓発グッズ費	0	334,013	0	0	0	334,013	0	334,013
会議費	0	155,931	0	0	0	155,931	0	155,931
活動交際費	0	0	0	0	0	0	3,000	3,000
業務委託費	0	45,372	0	0	482,100	527,472	0	527,472
諸謝金	0	110,000	0	0	0	110,000	0	110,000
印刷製本費	0	113,590	0	0	0	113,590	0	113,590
事務消耗品費	0	38,226	0	0	22,264	60,490	0	60,490
家賃	0	0	0	0	0	0	1,584,000	1,584,000
広告宣伝費	0	203,346	0	0	0	203,346	0	203,346
会費	0	0	0	0	0	0	30,000	30,000
支払手数料	0	5,280	0	0	0	5,280	1,155	6,435
システム利用料	0	0	0	0	39,987	39,987	0	39,987
雑費	0	76,080	0	0	0	76,080	0	76,080
教材費	0	0	0	0	14,500	14,500	0	14,500
保険料	0	8,200	0	0	15,270	23,470	0	23,470
租税公課	0	8	0	0	0	8	3,605	3,613
施設等評価費用	0	3,507,800	0	0	0	3,507,800	0	3,507,800
その他経費計	0	4,867,457	0	0	579,361	5,446,818	1,621,760	7,068,578
経常費用計	0	5,108,698	0	0	579,361	5,688,059	1,736,875	7,424,934
当期経常増減額	0	△ 674,067	0	0	4,348	△ 669,719	345,621	△ 324,098

3 施設の提供等の物的サービスの受入れの内訳

施設の提供等の物的サービスの受入れの状況は以下の通りです。

(単位:円)

内 容	金 額	算 定 方 法
各施設ライトアップ費用(啓発)	3,400,000	(社)神戸港振興協会に問い合わせた利用料金によって算定しています。
チラシ等デザイン費用(啓発)	107,800	一般的なポスターデザインに係る概算費用による。

4 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳

活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の状況は以下の通りです。

(単位:円)

内 容	金 額	算 定 方 法
管理部門ボランティア	115,115	単価は兵庫労働局の最低賃金によっています。
啓発活動ボランティア	241,241	単価は兵庫労働局の最低賃金によっています。

5 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	財務諸表に計上された金額	内役員及び近親者との取引
(活動計算書)受取寄付金	6,016,796	1,800,000

法人名： NPO法人あっとオーティズム

財産目録

令和6年 9月 30日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手元現金	31,143		
ゆうちょ銀行	593,343		
池田泉州銀行1	878,035		
池田泉州銀行2	425,314		
未収入金	12,429		
流動資産合計		1,940,264	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産	0		
(2)無形固定資産	0		
(3)投資その他の資産	121,000		
固定資産合計		121,000	
資産合計			2,061,264
II 負債の部			
1. 流動負債	39,987		
流動負債合計		39,987	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			39,987
正味財産			2,021,277